

075 江戸時代 貨幣と金融

統一的な貨幣制度の模索

金座 現在の日本銀行本店が跡地

あ 家康が慶長小判を 後藤庄三郎 に作らせる。

い 金貨の単位は 両・分・朱
1両 = 4分 (ぶ) 1分 (ぶ) = 4朱 1両 = 16朱

→小判は 計数貨幣
枚数を数えて使う。1分金4枚で1両。
1分金10枚 = 両 分
1朱金20枚 = 両 分

銀座

あ 銀貨は 秤量貨幣
重さを天秤で量って使う。

い 銀貨の形はふぞろい!!



う 銀貨の単位は重さ 両・匁

銅座 銅銭は 寛永通宝

銭1枚 = 1文。

銭1000枚 = 1貫



寛永13年から幕末まで
鑄造され続けました。

幕府公定レート

金1両二銀50匁二銭4000文

※実際にはその時々相場で変動した。

→近世後期には金1両二銀60匁

現在の日本円が海外で使えないように、江戸時代金貨も海外では使えません。長崎貿易ではオランダ人は元禄小判を溶かして純金だけ取り出して貿易しました。だから貿易では金貨より 秤量貨幣である銀貨 が便利ですね。

江戸は將軍のおひざ元だったので、今も東京都民は政府に従順です。国家公務員が多いし。逆に大阪府民は反権力志向が強い。商人のまちです。という大坂商人は権力に振り回されてきた歴史があります。権力を使用しません。→ 権力が作った計数貨幣 を信用しません。大坂商人は計数貨幣である金貨を信用しません。どんな混ぜ物をしてくるか、わかったもんじゃありませんからね。

東日本では主に金貨で決済されていた

二(東日本は 金遣い 経済圏)

西日本では主に銀貨で決済されていた

二(西日本は 銀遣い 経済圏)

銭貨(寛永通宝)は東西とわず全国で流通していた。

石見大森銀山や但馬生野銀山はいずれも西日本、佐渡金山や武田信玄の開発した金山など、金山はいずれも東日本に多かったという地理的事情も影響している様です。

金融機関… 両替商

本両替 …両替業のほか預金・融資といった

銀行業務も行い、資金と信用が大。

銭両替 …信用の小さな両替商で、たいてい

は米屋など他の商売を兼業。

十人両替 …本両替から幕府に指定されて

金融統制や幕府の公金出納を行った。

十人両替の仕事は現在の日本銀行や金融庁にあたりますね。十人両替の筆頭は、豪商 鴻池 でした。ほかには、莫大な資金と信用を持つ 天王寺屋 や 平野屋 がありました。十人両替は全員が 大坂商人 でした。江戸商人は1人もいませんでした。東京が大阪を超えたのは1960年代の高度経済成長期。戦後になってからです。大阪のプライドが分かりますね。

紙幣… 藩札 の流通

幕府の許可を得て発行

藩の領内でのみ通用。

福井藩 が最初。

2015 広島福山藩が最初。

※藩札はただの紙切れではなく、

金銀と 兌換 できた。

※藩は 33% の準備金で発行。

金銀が33万両あれば100万両分の

藩札を発行できる。

※藩札は大坂などの豪商が保証

(藩札は信用が命だから)

福井藩の現存最古の藩札 (1661)



銀拾匁 (十)

保証する豪商 (両替商) の名です。釣屋喜右衛門

075 江戸時代 貨幣と金融